



Tokyo Motor Show News



No.6

2002年11月2日発行
November 2, 2002

JAMA

東京モーターショーニュース

発行所 社団法人日本自動車工業会 モーターショー統括部
〒100-0004 東京都千代田区大手町1丁目6番1号 大手町ビル
Publisher: Tokyo Motor Show Department, Japan Automobile Manufacturers Association, Inc.
Otemachi Bldg., 1-6-1 Otemachi, Chiyoda-ku, Tokyo 100-0004, JAPAN
TEL 03-3211-8919 FAX 03-3211-5798 WEBSITE www.motorshow.or.jp

会期中盤の11月1日は、薄曇りから雨に変わったものの来場者の出足は好調。開場早々から県内の小中学生約500人がどっと来場し賑わっていた。今回は展示車のほとんどが触れて、乗って、楽しめるためか、子供たちをはじめ商用車を身近に感じていたようで、来場者から好評を得ていた。また各社とも福祉車両に力を入れ、多彩な新モデルを出品したこともあって、車いす利用の来場者が目立ち、熱心に見学していたことも今回のショーの特徴と言えるだろう。

隠し玉は「次世代の低公害エンジン」いすゞ

新しい経営再建計画を発表したばかりのいすゞ自動車。テーマは「信頼性能」。ブース内で行なわれたプレスブリーフィングでも井田義則社長は「今回のショーが商用車に特化するスタートライン」と決意のほどを表明した。「環境性能」「経済性能」「世界品質」の3つの視点から市販車をベースとした参考出品車6台を含む12台を出品しているが、メインは正面入口付近の“青竹を植え込んだ”環境コーナー。「エルフ ハイブリッド」と国内で初めて新短期排出ガス規制に適合した「エルフ KR ドライバン」などを展示。さらに、事業の核となっているディーゼルエンジンのうち、DME（ジメチルエーテル）を代替燃料とする次世代の低公害エンジンやNOx触媒を利用した環境対応の最先端テクノロジー技術などの注目度が高い。



環境対応の最先端テクノロジー技術をアピール

テーマは「小さなクルマ、大きな未来」スズキ



一人乗り商用車「ツイン」に熱い視線

出品車両は18台。ミニマムサイズを得意とするスズキの今回のテーマは「小さなクルマ、大きな未来」。ユニークなデザインのコンセプトカーを展示しているブース中央のステージが人気スポット。なかでも熱い視線を浴びているのが一人乗り商用車「ツイン」。第33回の東京モーターショーでお披露目した“スクーター感覚の四輪車”の「Pu-3コミュータ」のコンセプトを熟成させたもので、被災地でも小回りが利く「レスキューサポートカー」と多忙なビジネスマン向けの「モバイルオフィスカー」の2タイプを披露。ユニークな機能を凝縮した「働く小さな車」の新しい提案だ。

新しい商用車のカタチをアピール スバル

西ホールにあるスバル（富士重工業）のブース。中央通路から正面のメインステージを見渡すと、「お客様の声」をテロップで流し続ける大きな電光掲示板が目に入る。例えば「背の高い植木もラクに積みます（園芸業）」etc。今回のテーマは「できること広がる、明日につながる」。新しい商用車の“カタチ”を提案するため、実際にユーザーから生の声を聞いたという。ブースは「物流」「防災」「福祉」「環境」「カーライフ」の5つのゾーンを設定。軽自動車のサンバーシリーズを中心に17台を展示。参考出品の「スポーツトラック」から、CNG車、冷凍車、消防・浄水兼用防災車、有機資源物分別収集車まで、まさに多面的な商用車のオンパレードだ。



トラックが遊びの世界を広げる「スポーツトラック」

日本型ITSの将来像を探る —— トークイン2002開催

第36回東京モーターショーの特別企画のシンポジウム「トークイン2002」が11月1日午後2時30分から会場内の幕張メッセ・国際会議場で開かれた。390人が出席。今回のメインテーマは「ITS時代の物流を考える—新世紀の交通システムが物流を変える」。最初に、川嶋弘尚・慶応義塾大学理工学部教授が「ITSがもたらす将来の物流像」というテーマで30分ほど基調講演を行い、引き続き、キャスターの勝恵子さんの司会進行でパネルディスカッションに移った。パネリストは、湯浅和夫（日通総合研

究所常務取締役）、草鹿仁（早稲田大学理工学部助教授）、泉 麻人（コラムニスト）、白石真澄（東洋大学経済学部助教授）の各氏と川嶋氏も加わった。
日本型ITSの将来像についての議論を中心に、環境にやさしいディーゼル車の現状分析、高齢化社会とITS、次世代の物流システムの動向など、それぞれのパネリストの視点から活発な発言が飛び交った。最後に質疑応答も行われ、閉会時間の午後5時をオーバーするほどだった。



川嶋弘尚氏による基調講演



大型トレーラから福祉車両まで アイデアも満載

—商用車ボディ共同展示—

中央ホールの半分近いスペースを占めるのが日本自動車車体工業会による「商用車ボディ共同展示」ブース。メインストリートに外灯が立ち並び夕暮れの街角の雰囲気を感じさせるブースには、日本フルハーフ、東急車輛製造など加盟会社のうち15社が結集した。

出品車両は、大型・小型の「トレーラ」から冷凍・冷蔵などの多面的なニーズに応えるバン（箱型の荷室）、それに福祉車両を中心とする特装車など25台が展示されている。なかでも車いす仕様などの福祉車両は計10台にも及んでおり、トヨタ車体、日産車体などの出品各社がオリジナリティ溢れるテクノロジーとアイデアを競い合っている。

またバンボディのリア扉に電動式リフトを取り付けた北村製作所の「ドアリフト車」など、作業効率がグーンと高まる利便性、経済性を追求したボディ関連の新モデルも目立ち、個人事業主らの来場者が実演コーナーの前で足を止めたり、熱心にカタログを集める光景もよく見られた。

日本フルハーフ
東急車輛製造
不二自動車工業
関東自動車工業
日本トレクス

アラコ
須河車体
山田車体工業
日産車体
トヨタ車体

北村製作所
輸送機工業
パブコ
住友スリーエム
リフレクサイト



身障者の立場で体験

バリアフリーバス・
タクシーの
体験コーナー



身障者や高齢者など誰にも使いやすとした大型バスと、車いす使用者と健常者が一緒に乗れるタクシーに搭乗体験ができるのが、東ホールにある国土交通省のバリアフリーバス・タクシーの体験コーナー。健常者のなかには車いすに座って、バリアフリーと高齢化社会に対応して試作された展示車に乗り込んで、身障者の立場になっていろいろ体験している人も多い。車いすで来場された鬼頭義徳さんは「一人で乗り込むにはタクシーの方は傾斜がちよっときついな。電動のいすを使っている人ならいいかもしれないが、高齢者が車いすを使って利用することも想定しているのしょうから、もうすこし乗り込むためのスロープを緩めることを考えてほしい。それに実際に運用する時には運転手が席を離れて、そばで見守ってくれれば安心できると思う」と実用化にあたっての注文も。

大型トレーラすっごく良かった

商用車同乗試乗会

日野、日産ディーゼル、三菱、いすゞ、ボルボなど国内外14社が、さまざまな「働くクルマ」に試乗いただけるようにと自慢の車種を用意してあるのが商用車同乗試乗会。今年は大型トラック、トレーラ、バス、バン、福祉車両など22台に試乗できる。22台のうち、8台が福祉車両。スズキ、スバル、ホンダなど7社が提供しており、福祉車両の多いのが今回の特徴。

普段乗れない車に乗れるとあっていつも大人気。大型トレーラに乗った曾田真由美さんは「大きいのに乗りたかったのですっごく良かった。乗り心地は良いし、視界が良いので事故は少ないのでは」とご満悦。

大型のキャブインターハイブリッドトラックに試乗の林裕さん(68歳)は「ディーゼル車の感覚で運転できるというし、燃費が良いようで世界に誇ってもいいのではないかな。早く普及することを期待します」と感激の面持ちだ。

会期中、午前10時半から午後4時まで試乗できる。乗降車場は展示会場の南側屋外。



来場者に
聞く

バリアフリーは満点 しかし……

高齢の方や身体の不自由な方にも安心して見てもらおうと一層のバリアフリー化を推し進めた今回の展示会場。「通路は広い段差もなく、とても見やすい」。これは車いすで各ブースを丹念に見ていた東京・目黒区の松岡千恵さんの印象。「会場はスロープを極力なくすなどとても良い」というのは名古屋から車いすの方に同行してきた鈴木政彦さん。さらにバギー車に赤ちゃんを乗せた埼玉県・越谷市の山本順子さん「とても歩きやすい。いいですね」。ことバリアフリーに関する限り皆さん、「満点」ともいっていい評価。



本日の
VIP

スロヴェニア共和国大使
H. E. Robert Basej
(ロベルト・バセイ閣下)

ただ「2階では係りの方が親切に声をかけてくれたのに、展示場に入ると誰もいない」と松岡さん。「車いすの人が人垣の前に出られるような配慮を」と鈴木さん。そして階段のついた「あの高いトラックの運転台に行ってみよう」という声も。

THE DOCUMENT COMPANY
FUJI XEROX

第36回
東京モーターショー2002 商用車

機材協力：富士ゼロックス株式会社 Equipments Supported by Fuji Xerox Co., Ltd.

このニュースは富士ゼロックスの DocuCentre Color 500 と PrintServer U2 で出力しています。 Printed by FUJI XEROX DocuCentre Color 500 & PrintServer U2.

11月1日の入場者数
Nov. 1st attendance **35,500人**
入場者数累計
Attendance to date **103,800人**

